

**消** こんにちは！  
費生活相談室です 120  
消費生活相談室 (☎47-1106 FAX44-7957)

## 「配置薬（置き薬）」の注意点！

販売員が訪問して設置する配置薬は、必要なときに薬を利用し、利用した分だけを後で精算するというものです。便利な反面、強引な勧誘や支払いについてのトラブルも見られます。

### ❖相談事例 1

自宅に訪ねてきた販売員が、配置薬を置くよう勧めてきた。既に他の2社の配置箱を置いていたので断るが、しつこく頼まれたため仕方なく了承してしまった。

### ❖相談事例 2

配置薬の業者が何年も訪問しなかったために、使用期限の過ぎた医薬品を自分の判断で処分していた。ところが業者が久しぶりに訪問し、処分した医薬品の代金を請求すると言う。払わなければならないか。

### ❖アドバイス

- ◇強引に勧誘する業者には注意しましょう。不要であればきっぱり断りましょう。
- ◇配置薬の販売員は、身分証明書を携帯することが定められています。社名、社員名、連絡先などをメモに残し、配置箱にも記載があるか確認しておきましょう。
- ◇預かった配置薬には保管義務が生じます。自分の判断で処分してしまったりすると代金を請求されますから注意が必要です。ただし、使用せずに保管していれば代金の支払い義務は生じません。
- ◇使わないのであれば、早いうちに解約を申し出、引き取ってもらいましょう。

### ☒相談受付時間

毎週月～金曜日  
午前9時～正午・午後1時～4時



**み** んなで拓く人権文化 105  
地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

## 「もう歳だから」と高齢者をのけ者にしていませんか？



(出典:「あっ そうか！人権」公益財団法人 人権教育啓発推進センター発行)

5月13日(日)は市内各地区で市民運動会が開催されます。絵のように決めつけしないで、まずは本人に尋ねてみるのが大切ですね。

高齢になると外出するのに時間がかかることがあります。小さい子の成長や活躍を楽しみにしているのは同じだと思います。一人でも多くの人々と市民運動会を楽しみたいものですね。

### ＜高齢社会対策基本法 第5条 -要旨-＞

高齢者と共に、皆が健やかで、充実した生活が送れるよう、努めましょう。

(出典:「あっ そうか！人権」公益財団法人 人権教育啓発推進センター発行)

## 今月のサロンコンサート

### 「ホルンアンサンブルの夕べ」

月と き 5月25日(金)午後7時30分～8時40分  
月と ころ 文化ホール(入場無料)  
月出 演 鳥取ホルンアンサンブル  
月演奏曲 「だれも寝てはならぬ (フッチーニ)」 「フリッパリーズ#4 (ショウ)」 「でんでんむ虫」 ほか

県内を中心に活動を展開している鳥取ホルンアンサンブルは、ホルンの魅力を伝えるべく、県内ホルン愛好家が集まり2009年に結成されました。定期演奏会を中心に中高生への指導、各種イベントに参加しています。

(◎問い合わせ先 境港市文化振興財団 ☎47-1104)



## 図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099 ホームページアドレス <http://lib.city.sakaiminato.tottori.jp/>)

❖開館時間 午前10時～午後6時  
❖休館日 毎週月曜日・毎月末日

『定本 落語三百題』  
武藤禎夫

『下山の思想』  
五木寛之

『ぼくはお金を使わずに生きることにした』  
マーク・ボイル

- 今月の新規・寄贈図書
- ◇パンクバー朝日物語(五島紀夫)
  - ◇食べるギリシャ人(丹下和彦)
  - ◇世界中のアフリカへ行こう(中村和恵)
  - ◇旅廻り宇野重吉一座(麦秋社)
  - ◇作劇術(新藤兼人)
  - ◇時代の目撃者(ロバート・キャバ)
  - ◇日本の映画(岩波写真文庫)
  - ◇和紙の源流(久米康生)
  - ◇日本地図史(金田章裕他)
  - ◇創刊号のパノラマ(うらわ美術館他)
  - ◇定本日本浪曲史(正岡容)
  - ◇幕末明治見世物事典(倉田喜弘)
  - ◇上方芸能事典(森西真弓)
  - ◇アイヌ語方言辞典(服部四郎)
  - ◇サンスクリット文法(辻直四郎)
  - ◇貸出冊数・期間 一人5冊・2週間
  - ◇絵本・児童書 新刊書のほか、読み継がれてきた名著がたくさんあります。

相生町の海岸に通じる境街道(新道・外浜県道)で、アーケードのあった交差点の約50m南の地点から南方を見た中町の写真です。

中町が設置されたのは大正15年5月のことです。町名の由来は、西に本町・東に東本町その中間に位置するから中町としたなど、諸説ありますが定かではありません。いずれにしても当時の境町集落の中央部でした。旧字名でいうと代々南(千坊の東)を中心に、北を代々灘の南部と東の古戸の一部が町域のようです。



現在の中町通り



昭和37年ごろの中町通り

あの写真  
この写真

当時の県道としては県下最大の幅員でした。

昭和30年ごろまで、朝早く中浜・和田方面から農家の人たちが大八車に自家産の野菜を満載して売りに来ていました。商談のあとは、境港の海産物などを買い求め、今という地産地消そのものでした。

また、巾着網漁業で豊漁が続いた昭和27年ごろから、漁獲物の輸送が鉄道からトラックへと変わり、地響きをあげて境街道を通過するようになります。

ちょうどそのころ、日の丸バス、日交バスの2社も運行を開始し、境街道は大型車両がせめぎあっていました。

その頃の中町も港の景気を受け活況で、船団の物資補給をする人や休養する船員で溢れていましたが、それも昔話となりました。

(市史編さん室 小灘浩)